

News Release

2019 年 9 月 30 日

株式会社学研ホールディングス
株式会社学研ココファンホールディングス
株式会社日本政策投資銀行
DBJ アセットマネジメント株式会社

学研グループが運営するサービス付き高齢者向け住宅を 保有する私募ファンド（「ココファンド」）の 第 3 号案件実行について

株式会社学研ココファンホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小早川仁）および株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、以下「DBJ」という。）は、学研グループが運営するサービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」という。（注））を長期・安定的に保有することを目的に、2015 年 5 月に私募ファンド「ココファンド」、2016 年 12 月に私募ファンド「ココファンド 2」に出資しました。

今般、その第 3 号案件として、上記法人は学研グループの株式会社学研ココファン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：五郎丸徹）が運営するサ高住 2 物件に投資を行い、不動産流動化を実施しました。

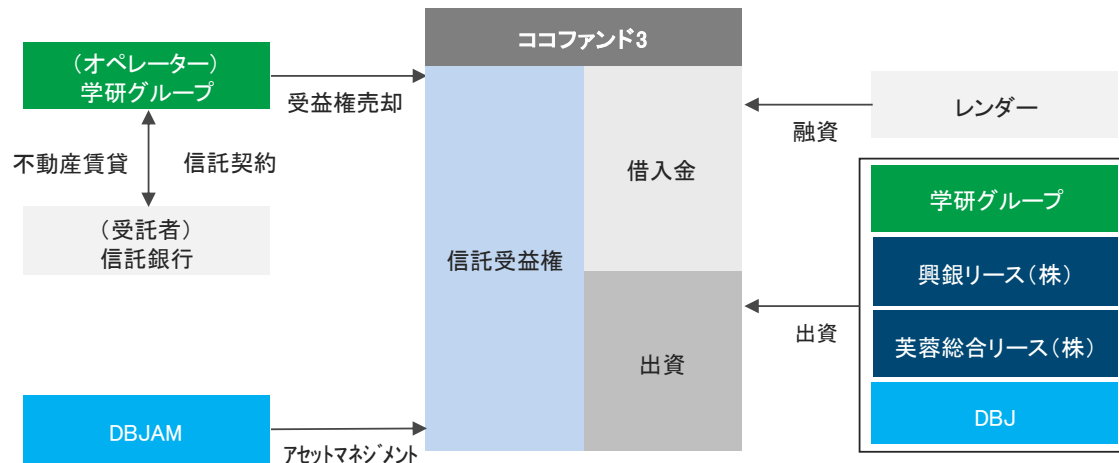
学研グループは、2004 年より高齢者福祉事業を展開しており、サ高住の供給室数は全国トップクラスで、豊富な運営実績を有しています。今後についても、高齢者福祉事業を成長事業と位置づけており、当ファンド等の活用により、健全な財務体質を維持しながら、継続的にサ高住の開発を行っていく方針です。

DBJ は、高齢者施設・住宅の整備促進が社会的に要請される中、信頼出来るビジネスモデルに基づく良質な高齢者住宅の整備を図る観点から、2018 年に学研グループと業務資本提携に関する契約を締結しており、今般、当該契約に基づく協業の一環として、DBJ アセットマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区、以下「DBJAM」という。）が組成する当ファンドに出資しました。なお、ココファンド 3 に対する DBJ の出資については、地域経済の活性化や企業の競争力強化に資する成長資金を集中的に供給するものとして、「特定投資業務」（注）を活用します。DBJ は、今後とも、優良な高齢者施設・住宅の整備に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

（注）「特定投資業務」とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

News Release

1. ストラクチャー



2. 流動化対象物件の概要

(1) ココファン鶴橋（大阪府大阪市生野区鶴橋 1 丁目 6 番 8 号）

- 居室数／定員数：180 室／180 名
- 建物面積：7,228.45 m²
- 構造等：鉄骨造地上 8 階
- 開設年月：2014 年 2 月

(2) ココファンあすみが丘（千葉県千葉市緑区あすみが丘 3 丁目 52 番 6 号）

- 居室数／定員数：92 室／104 名
- 建物面積：5,598.89 m²
- 構造等：鉄筋コンクリート造 6 階
- 開設年月：2010 年 11 月

(注) サ高住は、2011 年「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の改正により創設された制度。2019 年 7 月現在、約 24 万 6000 戸が登録されている。

【お問い合わせ先】

株式会社学研ココファンホールディングス

広報担当 電話番号 03-6431-1863

株式会社日本政策投資銀行

企業金融第 6 部 電話番号 03-3244-1730